



平塚市民病院

地域医療支援病院 災害拠点病院 神奈川県がん診療連携指定病院

広報誌

Vol. 50

Spring 2025

私たちは、市民の健康を守り、地域医療に貢献します

SMILE!

～毎日笑顔で～

スマイル

特集 センター診療機能紹介③ 救命救急センター 集中治療 センター

⑪⑫

令和7年度 着任した医師を紹介します

新年度のごあいさつ 病院長

③④

キラリ★ナースのお仕事 Vol.22 新しい仲間を紹介します!

⑤

第12回 リハビリ通信 認知症を予防しよう!!

⑥

お知らせ 市民健康講座を開催します／中・高生向け看護体験開催!

⑦



撮影場所:平塚市民病院

救命救急センター 集中治療センター

病院救急車が『命』を繋げます



市民からの寄付金を活用して高規格の救急車を整備しました。医師や看護師が同乗して現場へ向かうドクターカーとして、また、医療機関等との患者搬送車として使用します。電動ストレッチャーのほか、モニター兼除細動器、自動心臓マッサージシステム、搬送用人工呼吸器などの医療機器を搭載し、広い車内空間で最適な救命救急処置等が可能です。



電動ストレッチャーを搭載しています。電動のため持ち上げや移動が安全に行えます。



2(日本で) 1(一番の) 9(救命) 9(救急センター)になる、という願いを込めた車両番号になっています。

わたしたちは
『命』に
向き合います

ER/救急病棟



県から指定された「救命救急センター」として専用のベッドを20床有しています。ER（救急外来）ではPCPS（経皮的心肺補助）確立、緊急手術、緊急カテーテル治療が可能です。初期治療後はICU・CCU、HCU、救急病棟で継続して集中治療を行います。

救急ワークステーション



平日の日中は消防署救急隊が常駐しています。キーワード方式で、指令に基づき医師・看護師が救急隊とともに現場へ向かいます。重症傷病者には病院到着前から救急医療を行っています。

ヘリコプター搬送



新館屋上にヘリポートが設置されています。ヘリコプターで搬送される患者さん（山岳救助事案等）を受け入れます。

『命』を繋げる 救命救急センター

救命救急センターについて、詳しくは病院ホームページをご覧ください。



市民病院の急性期医療の中核となる二つのセンターを紹介します。

救命救急センターは、『命』を繋げる、をコンセプトに『断らない救急医療』を掲げています。年間救急搬送患者数は10,000人を超え、県内でもトップクラスとなっており、救急隊からの依頼に対して99%応需しています。

集中治療センターは、大きな侵襲を伴う手術を受けた患者さんや、心肺停止や呼吸不全、多臓器不全など命の危機にある患者さんに対して、多職種が連携し『生きる力』に寄り添う高度な医療を提供しています。

集中治療センター 『生きる力』に寄り添う



ICU・CCUは8床（2対1看護）、HCUは4床（4対1看護）を有しています。集中治療専門医を中心に医師・看護師をはじめとした多職種が集中治療を行います。

ICU・CCU/HCU



ECMO 補助循環用ポンプカテーテル 血液浄化装置
循環不全、呼吸不全、腎不全などの重症の臓器不全の患者さんには、生命維持装置を用いた治療を行います。
24時間体制で治療にあたります。

高度な生命維持装置



入院後は、積極的にリハビリテーションを行います。栄養状態を評価し、経口摂取の早期開始を目指しています。

医師・看護師とともに、薬剤師、臨床工学技士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカーが連携して治療にあたります。

早期離床・栄養ラウンド/ 多職種連携



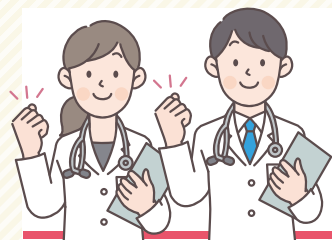
補助循環用ポンプカテーテルは、急性心筋梗塞や重症心不全、劇症型心筋炎などで心原性ショック（自分の心臓で全身に血液を十分に送ることができない状態）に陥った患者さんに対して、心臓の代わりとなって全身に血液を送る装置です。主に救急の現場で威力を発揮し、これまでは回復が難しかったような症例でも、この装置の使用により救命率の向上が期待されています。

神奈川県内で認定されているのは当院を含め18施設のみで、相模川以西のエリアでは東海大学医学部附属病院に次いで2施設目です。



ABIOMED®社より提供

重症の心臓病を治療する装置を導入し救命率の向上を図ります



令和7年度 着任した医師を紹介します

新体制で
スタートします！

本年度着任しました、29名の医師を紹介します。
平塚市民病院の一員として、“市民の健康を守り、地域医療に貢献する”
医療を提供していきます。

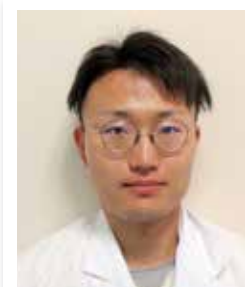


病院長
なかがわ もとひと
中川 基人

当院では新たに29名の常勤医師と11名の初期臨床研修医を迎え、医師数137名と昨年度より3名多い人員にて新しい年度をスタートさせました。受診する病院の医師が異動することは患者さん・ご家族にとって不安を伴うものと思います。しっかりと引継ぎによって切れ目のない診療を継続できるよう気を引き締めてまいります。

今年度の医師体制の特徴を3点紹介します。まず、循環器内科、脳神経外科、麻酔科、緩和ケア内科に経験豊富な医師が増員され、専門性の高い診療に幅と厚みが増しました。また、当院で2年の初期臨床研修を終了した医師3名が、そのまま勤務を継続して専門医となるための専攻医研修を開始しました。若手医師が働き続けたいと感じる病院を目指す我々にとって嬉しいことです。さらに、増減の男女内訳をみると、男性の減を女性の増が乗り越えて医師総数が増加しています。当院では社会情勢に振り回されることなく、今後も着実に「女性医師の目に働きたい・辞めたくない」と映る労働環境」を目指していきます。

平塚市民病院は、平塚市・中郡地域内の医療機関の方々とこれまで以上の密な連携を実現し、地域住民の皆様に「かかりたい病院」と感じていただけるよう全力を尽くします。どうぞよろしくお願いいたします。



いちかわ たけひろ
市川 剛大
脳神経内科 医師



やまだ ごう
山田 剛
小児科 医長



くぼた よしき
窪田 義己
小児科 医師



はやし ともひろ
林 智大
外科 医師



おはら まさや
小原 雅也
外科 医師



かない りゅういち
金井 隆一
脳神経外科 主任医長



おおいし ゆみこ
大石 裕美子
脳神経外科 医長



おかむら はやお
岡村 駿
整形外科 医師



しろた こうすけ
城田 晃佑
整形外科 医師



さとう ひろたか
佐藤 広崇
整形外科 医師



たかはし たかみち
高橋 孝通
内科 医長



まつもと ゆうすけ
松本 悠亮
消化器内科 医師



もりした たいき
森下 太喜
消化器内科 医師



あべ ひなこ
阿部 日奈子
消化器内科 医師



おおみや りょう
大宮 諒
消化器内科 医師



なかはら ともみ
中原 知美
整形外科 医師



とがし ゆうま
富樫 悠磨
形成外科 医師



たつた いさあき
辰田 功顕
産婦人科 医師



せんだ しんたろう
千田 晋太郎
放射線診断科 医師



はやし けんいちろう
林 賢一郎
救急科 医師



かたやま ひびき
片山 響
消化器内科 医師



さの かつき
佐野 克樹
消化器内科 医師



さかた しんご
坂田 新悟
循環器内科 医長



ほずみ ひでき
保住 英希
循環器内科 医師



さとう かずや
佐藤 和也
脳神経内科 医師



ま とはら なおき
眞戸原 尚輝
救急科 医師



ぬまた ひろき
沼田 大輝
救急科 医師



くどう りょうへい
工藤 良平
麻酔科 主任医長



ひろかわ さとる
廣川 智
緩和ケア内科 主任医長



平塚市 Hiratsuka City

新しい仲間を紹介します！

看護部は2025年度、新人看護師34名、新人助産師2名、総勢36名の仲間を迎えました。
病院の理念「私たちは、市民の健康を守り、地域医療に貢献します」、看護部の理念「尊重と思いやり」のもと、組織の一員として役割を発揮できるよう自己研鑽していきますので、あたたかい目で見守っていただけると嬉しいです。

採用時研修



看護部長あいさつ

私たちの看護部は、“『命』を繋ぐ”【断らない救急】と言う病院の方針に従い、救急応需率99%以上、救急車の搬送件数年間10,000台超えと言う救急医療や急性期医療に対応しています。

【断らない救急】と言うことは、搬送件数10,000台超えと応需率99%と言う数字に現れていると思っています。当院を必要とされる“患者さん”に対し、医師や看護師だけでなく、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師など、多くの専門職種が知識や技術、知恵を出し合い、高度な機器類や機材も駆使して、高度急性期や急性期と言われる医療を提供します。そして、『命』を救った後に“患者さん”が暮らす地域（＝生活の場）へ繋いでいく、その一連の流れが“『命』を繋ぐ”ことではないかと私は考えます。



看護部長 稲村ほづみ(右から2番目)

高度急性期から地域へ、私たち平塚市民病院の看護師が担う役割は多岐に渡ります。その時々、患者さんが必要とする看護を提供するために、看護の知識と技術を身に付け、『尊重と思いやり』の気持ちで患者さんの「思い」「願い」に寄り添うために、多職種との連携を強化していく必要性を理解できる看護師の育成に努めていきたいと考えています。

詳しい活動や採用情報は看護部ホームページへ

平塚市民病院 看護部

検索



認知症を予防しよう!! ①

ご存じですか？

「運動」が「認知症予防」に効果的なこと

リハビリテーション技術科のスタッフが、みなさんに知ってほしい情報をお伝えしていくコーナーです。
今回は、「認知症予防」に関する情報を2回に分けて紹介します。認知症とは、脳の働きが悪くなることで記憶や判断力が衰えて、日常生活や人との関わりに支障が出ることです。生活習慣と関わりがあり、定期的な運動やバランスの良い食事が予防につながるということが分かっています。効果的な運動を紹介しますので、みなさんの健康的な生活に役立てましょう！

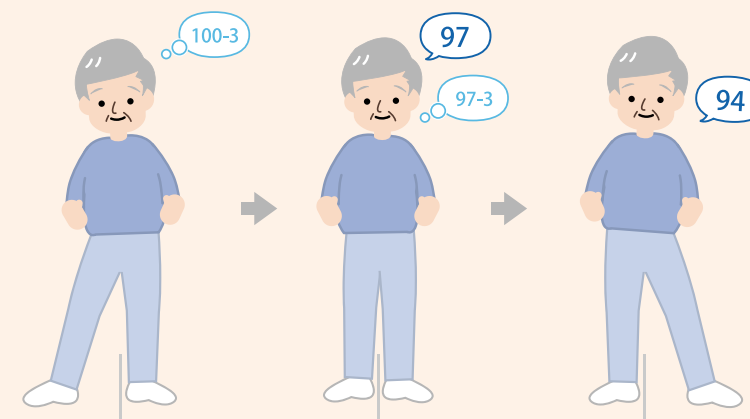
認知症の予防に対する理学療法

運動の効果

アルツハイマー病の原因となるアミロイドβ蛋白の蓄積を減らすことや短期記憶の容量が増加するなど、適度な有酸素運動や筋力トレーニングが認知症の予防に効果的と言われます。

運動の内容

運動に認知課題(簡単な計算やしりとりなど)を組み合わせると、さらに効果が高まります。



足の横移動と引き算練習

- ・左右交互に足を一歩ずつ横に移動させます。
- ・上記の運動をしながら、100 から 3 ずつ引いていく計算をします。
- ・計算は 7 ずつの引き算や足し算などに変えてもいいでしょう。
- ・他の簡単な運動に変えても構いません。

お知らせ

市民健康講座を開催します

開催日 第1回 令和7年6月14日(土)

テーマ **脳卒中の予防と最新治療**

- 今だから知りたい脳卒中の予防と最新治療

脳神経外科 黒島義明

- 日々の食事で血管を丈夫にしよう!

栄養科 服部雅子

- 脳卒中後のリハビリテーション

リハビリテーション技術科 管野恒平

時 間 開場 9時30分

講演 9時40分から

会 場 ひらしん平塚文化芸術ホール

講座の詳細については、広報ひらつか、
当院のホームページでご確認ください。

こちらから電子申請が可能です



中・高生向け看護体験開催!

看護師を目指している方、看護学校への進学を考えている方、
看護の仕事に興味のある中高生の方を対象に開催します。

日 時 令和7年8月 7日(木) ①午前 ②午後

8月20日(水) ①午前 ②午後

① 8時30分から12時

② 13時30分から17時

対象者 中学生・高校生

お申し込みは当院ホームページ看護部ページから



2024年開催時

地図・交通アクセス

【路線バスをご利用の方】.....

- JR東海道線 平塚駅北口からバスで15分

平21、22、26、77金田公民館行き、市民病院行き、
市民病院経由高村団地行き、市民病院経由東海大学前駅南口行き
「市民病院前」下車 運賃:現金、ICカード240円

- 伊勢原方面から平塚駅行「中原下宿」バス停下車、ヘルシーロード徒歩約20分

- 秦野方面から平塚駅行「南原」バス停下車、徒歩約10分

【シャトルバス】.....

- 市内神田地区から市民病院へ便利なシャトルバスも運行しています。

〔運行日〕市民病院外来診療日

〔運休日〕土曜日、日曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日)

〔運賃〕大人…1乗車260円

小学生、割引運賃適用者(※)…130円

未就学児…無料

現金 前払い(回数券、ICカードは使えません。)

※身体障害者手帳または療育手帳をお持ちの方と、その介護者の方

【車をご利用の方】.....

- 午前は、大変混雑しますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

- 信号「平塚市民病院入口」から進入してください。

- 外来駐車場(有料)

〔利用時間〕午前7時00分～午後7時30分

〔料 金〕外来患者…入場後30分無料、同90分100円、以降すべて200円

— 一般…入場後30分無料、同90分100円、以降1時間ごとに
100円加算(面を含む)

交通系電子マネーでの支払いが可能です。



Hiratsuka City Hospital
平塚市民病院

救命救急センター 災害拠点病院 地域医療支援病院
神奈川県がん診療連携指定病院

〒254-0065 神奈川県平塚市南原1-19-1

TEL: 0463-32-0015 FAX: 0463-31-2847

URL: <https://www.hiratsuka-city-hospital.jp/>

初診受付時間: 午前8:30～11:00(初診及び予約外の方)

休診日: 土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)

